令和２年６月26日
財　　務　　局

令和元年度一般会計決算（見込み）について

○　令和元年度一般会計決算（見込み）における実質収支は、1,403億円の黒字となった。

・　これは、都税収入が前年度決算対比で８年連続の増収となったことに加え、基金を戦略的に取り崩したことや、将来を見据えて無駄の排除を一層徹底したことなどによるものである。

・　今後、新型コロナウイルスの感染症防止と経済社会活動との両立を図るための施策など、直面する喫緊の課題等に対応していくため、持続可能な財政運営を行っていく。

※　なお、財政状況の詳細については、９月に公表予定の普通会計決算で明らかにする。

○ 令和元年度一般会計決算（見込み）

（単位：億円、％）

区　　分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
歳　　入　　A	76,717	75,156	1,561	2.1
歳　　出　　B	74,446	72,348	2,098	2.9
形　式　収　支　C=A−B	2,271	2,808	—	—
翌年度へ繰り越すべき財源　　D	868	1,418	—	—
実　質　収　支　E=C−D	1,403	1,390	—	—

※ 各計数は原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しない場合がある。

【問合せ先】
財務局主計部財政課
電話　03-5388-2669